

第120回 東京医科大学病院 市民公開講座

# 「増え続ける膵がんの診断と治療」

膵がんの症状は非常に現れにくく、初期の段階では気づきにくい病気です。しかし、転移や進行が早いため、自覚症状が出て発見されたときにはすでにかかなり進行しているケースが多いのです。膵がんが発見された患者の約60%がすでに手術ができないほど進行した状態で発見されていると言われていています。

今回、その膵がんについて、消化器内科 祖父尼 淳 准教授が解説いたします。

どうぞ皆さまお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

■日 時：平成29年9月29日（金）

開場 17:00

開演 17:30～

閉演 18:30（予定）

■会 場：東京医科大学病院

本館6階 臨床講堂

（最寄駅：丸ノ内線 西新宿駅）

■入 場 料：無 料

■申し込み：事前の申し込みは不要。当日は会場に直接お越しください。

■お問合せ：東京医科大学病院 総務課 ☎ 03-3342-6111(代)

※尚、座席数に限りがございます（320席）。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。



共催：東京医科大学

東京医科大学病院 生涯教育センター

東京医科大学病院 総合相談・支援センター

公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団

東 京 医 専

 東京医科大学病院  
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL